

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人マリア学園
施設名	幼保連携型認定こども園聖母幼稚園
報告者（役職）	村上政子（園長）
住所・連絡先	熊本県熊本市東区南町 13-7
	T E L （096） 369-7235
	E-m a i l seiboyouchien@helen.och.jp

○タイトル（保育計画）

震災にも負けない生きる力を育む

○主な助成備品

大型・小型絵本棚、壁面フック、ぞうきん掛けスタンド、
ロングライトバス（お散歩兼遊具車）

1. 保育計画策定の目的

本園は平成28年4月に幼稚園から幼保連携型認定こども園としてスタートしました。認定こども園への移行により、0歳から3歳までの子どもを受け入れ、定員も増加しました。それに伴い、保育に必要な備品も整備しました。

しかし、直後の熊本地震により、数多くの備品が破損してしまいました。

0歳児から6歳児までの一人ひとりが安心安全な環境の中で自由かつ活発的に子ども自身が考え、行動し自信を持って何事も取り組んでいく子どもの育成を目指しています。

2. 具体的な実施内容

（1）大型及び小型絵本棚

- ・たくさんの中から好きな本を選べるよ。
- ・いつでもお友だちと一緒に本を読めるね。



(2) 壁面フック

- ・クラスに入る前に、帽子や体操服などをきちんとかけているよ。
- ・広くなった廊下から、あわてないで避難できるよ。



(3) ロングライトバス

- ・お天気のよい日は、近くの公園まで散歩にいきます。
- ・ロングライトバスは、避難も早くできます。



(4) ぞうきん掛けスタンド

- ・ぞうきんもきれいに干すことができ、洗濯ばさみで押さえます。



3. その成果と評価

(1) 大型及び小型絵本棚

本棚が整備されたことで、子ども自身が読みたい絵本を自由に選ぶことができます。また、友だちと一緒に図鑑を見たり、先生に本を読んでもらったりして楽しい一時を過ごしています。多くの本にふれ、知的好奇心も広がっています。

週に1回の本の貸し出しも子どもにとっての楽しみの一つで、借りた本をおうちの方に読んでもらうことで、情操教育にも効果が出ています。

(2) 壁面フック

壁面にフックが設置されたことで、廊下が広く使えることになり、避難経路がきちんと確保できるようになりました。

また、フックに子どもたちが自分の水筒や帽子などを心がけて掛ける習慣が身につくにつつきつあり、整理整頓をする力も養われています。

(3) ロングライトバス

歩行困難な子どもたちが、公園などにロングライトバスに乗っていきことができ、安全かつ便利で、助かっています。四季折々の自然に触れ、子どもにとって心地よい時間を持つことができ表情も豊かになっています。

避難訓練の時にも、素早く避難場所に移動できるようになりました。

(4) ぞうきん掛けスタンド

ぞうきんを使って、汚れたテーブル、床などを「拭き」・「洗い」・「干す」という一連の清掃作業ができるようになりました。子どもサイズのぞうきん掛けにぞうきんを干し洗濯ばさみで留めることで、最後までやり遂げる達成感や社会性・秩序が培われているところです。

4. 今後の課題と展望

「絵本棚」が整備できたところで、子どもたちが思い思いの本を選び手にとって読むことができ、さらに貸し出しがスムーズになり、親子で本を楽しむ姿が多く見られます。

今後は、整備された環境のもと自然観察コーナーを設けて、動植物などの本をそろえたり、四季折々の草花を飾ったり、水槽を設置したりして、自然への関心を深めていきたいと思えます。自然に親しみをもち生き物の命に触れることで、子どもたち自らが命を大切にしようとする心を育んでいくことができると願っています。

最後になりましたが、熊本地震ではたくさんの物を失いました。しかし、第一生命財団のみなさまには、それ以上の物と心をいただきました。このことは園児たちにずっと伝えていこうと思っております。そして、「子ども達の自立する力、一歩」を踏み出すことができました。心より、感謝申し上げます。

以上